

No	題名	分類・時間	内容
16	150万人の訴え －精神障害者・その人権と差別－	ドキュメンタリー 29分 1990年制作	現代、不安とストレスの時代と言われ、障がい者も急増している。そこで1988年に精神保健法を施行したが、これには障がい者を病院に閉じこめておけば良いという人々の認識の転換が欠かせない。国立精神センター島菌名誉総長の話を取り入れながら訴えます。
17	世界人権宣言40周年記念 いのちいっぱい	ドキュメンタリー 52分 1988年制作	人の心は勝手な物で、恵まれていない人にはある種の優越感を抱き、困難を克服している人にはやっかみをおぼえます。様々な障害をのりこえ、ひたむきな努力を続ける人々の姿を描き、真の心のふれあいを築き上げるために私たちは何をなすべきかを考える作品です。
25	新ちゃんがないた！	アニメーション 36分 1990年制作	四肢性まひのための全寮制の養護学園で学んでいた新ちゃんは、先生や先輩の励まし、本人の努力が実って普通学校に転入することが出来た。だが彼の行く手には様々な障害が横たわっていました…。何が生きて生きぬいていく勇気につながるのか、何が本当に人を強くするのか、何が真の人と人のつながりをつくるのかを考える作品です。
27	とべないホタル －小さな灯から大きな感動－	アニメーション 20分 1992年制作	羽が縮んで飛べないホタルと仲のよい姉妹弟の物語。足の不自由な妹のためにホタルを取りにきた男の子の手の中に、飛べないホタルをかばって、一匹のホタルが飛び込んだ。空を飛ばず、ひとりぼっちだと思い込んでいた飛べないホタルは、多くの仲間が自分のことを思ってくれたことを知って涙するのです。
31	わすれるもんか！ (字幕スーパー入り)	アニメーション 40分 1993年制作	クリスマスイブに開かれた、目の不自由な正彦のギター演奏会に集まった満員の聴衆を感動させたものは……正彦の音楽的才能の芽を育んだ幼稚園の先生や正彦の生き方に触れて心を入れ替えた番長の健治たちが奏でる心温まる物語です。
70	はばたけ明日への鐘	ドラマ 51分 1994年制作	5年1組の大潮君のクラスには、情緒障がい児の小坂君というクラスメートがいます。彼は、クラスのみんなどとはあまり喋らず、うさぎ小屋でうさぎと話していました。そんな小坂君は、矢野君というガキ大将に「いじめ」られていました。「障がい児」問題や「いじめ」とおして子どもたちの暖かい思いやり、心の優しさを描いた作品です。
74	「ともに生きるために」シリーズ 1 あなたもできる車椅子の介助	福祉教材 9分 1994年制作	健常者が何気なく歩いている街も、車椅子で行動しようとするとき様々な障害にでくわします。いろいろなケーススタディを通して、車椅子の介助の仕方を実践的に示した作品です。
75	「ともに生きるために」シリーズ 2 視覚障がい者の介助	福祉教材 10分 1994年制作	白杖や点字ブロックを頼りに行動している人を見かけたらどうするのか。様々な事例を通して、目の不自由な人が困ることをはじめ、適切な誘導の仕方を具体例と共に示した作品です。

76	「ともに生きるために」シリーズ 3 聴覚障がい者とのコミュニケーション	福祉教材 9分 1994年制作	聴覚障がい者とコミュニケーションを図るために心得ておきたいこと、相手の立場に立って接すれば、素晴らしい会話が成り立つことを実際に色々な事例を通じて示した作品です。
123	学 校 II	ドラマ 122分 1996年制作	北海道の小さな街にある高等養護学校のあるクラスの入学から卒業までの3年間に起こった様々な出来事を静かに優しく綴った作品です。
129	校長先生が泳いだ	アニメーション 20分 1996年制作	身体にハンディをおった少女が、何事にも負けないと頑張ります。それを見守るなかまも決して揶揄することなく励みます。山間の廃校と決まった分校での先生と子どもたちの温かい物語を通じて、人の思いやる心のすばらしさ、大切さを訴えます。
142	どんぐりの家	アニメーション 110分 1997年制作	若い夫婦に初めて誕生した子どもが、聴覚障がいと知的障がいを併せ持つという重い障がい児であったことから直面する様々な家族の苦しみのなかで、ろう学校に通う同じ障がいを持った子ども達やその家族、先生達と支え合いながら、成長していく様子を母親とのふれあいを軸に展開しています。そして、卒業後も豊かな生き方を切り開くために、多くの支援者を得ながら共同作業所「どんぐりの家」を実現し、そして生活労働施設の設立を目指す様子を描いた作品です。
146	5等になりたい。	アニメーション 76分 1995年制作	小さい頃の病気がもとで4歳まで立つことすらできなかった律子。小学校に入っても、皆と同じ様に歩くことができず、クラスメイト達にからかわれるのでした。傷心の律子は、足のマッサージ師の石橋先生から《人としての本当のやさしさ・強さ》を教わります。それをきっかけに、明るくたくましく生きぬ抜こうとする律子。3年の運動会も近づき、律子の班では、「律子ちゃんがいたらリレーに負けちゃうよ」と大騒ぎ。班から抜けようとする律子でしたが……。」
156	盲導犬クイールの一生	アニメーション 25分 2003年制作	全国の人々の瞳を感動の涙で濡らせた盲導犬クイールの一生を描いた作品です。観終わったあと、心の芯がきつと癒されるでしょう。
158	生きてます、15歳。	アニメーション 25分 2002年制作	我が子の自立を想い、厳しく育てる母。そんな母に反発しながらも美由紀は明るくたくましく成長して行く。僅か500gで生まれ、未熟児網膜症のために失明してしまった井上美由紀さんとお母さんの心の交流と成長を描いた感動の著書のアニメーション作品です。
165	壁のないまち	ドラマ 35分 2004年制作	現実の社会の中で、身体的、知的、精神的な障がいのある人たちがどのような状況におかれているのかに気づき、どうすれば障がいのある人たちが安心して生活できるのかを考えます。また、障がいの有無にかかわらず誰もが元気に暮らせるユニバーサル社会を築くことができるのか、自分の生き方を考える作品です。

167	ステップ	ドラマ 54分 2005年制作	障がいのある女性(八重)が自分の生き方を見つけて行く中、まわりの人々が女性(八重)の障がいについて正しく理解する姿をとおして、障がい者と共生する社会の実現について考えるきっかけになる作品です。
175	バリアフリー社会を 考えるシリーズ 車いすの人に出会ったら	ドキュメンタリー 障がい者問題 11分 2002年制作	車いすの人に出会ったら……。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験を通して、バリアフリー社会を目指し、バリアを取り除いていこうという意識を高めるビデオ作品です。
189	秋桜の咲く日 (字幕・副音声付き)	ドラマ 障がい者問題 (発達障害) 34分 2013年制作 (DVD作品)	特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働く大谷ちひろは新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなかつたり、コミュニケーションが取りづらい。ちひろはストレスを感じながらも直也を育てるべく奮闘するのですが…。この作品は、「目に見えにくい違い」の一つである発達障害のある人の生きづらさや痛みを伝えるとともに、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材です。
210	風の匂い	ドラマ 障がい者問題 34分 2016年制作 (DVD作品) (字幕副音声版)	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人。歩には知的障害がありますが、子どもの頃はともに遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰か。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなる教材です。(活用ガイドブック有)
212	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくる ために	ドラマ 障がい者問題 (33分) 2019年制作 (DVD 作品) (字幕副音声付) (活用の手引き付)	ユニバーサル社会とは、障害の有無にかかわらず、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会のことです。障害のある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。この作品では、障害のある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取り組みなどを具体的に紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。